2012年 新年のごあいさつ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災で日本中に衝撃が走った一年でございました。本市におきましては、義援金や職員の派遣など最大限の支援を行うとともに、本市の防災体制について改めて熟考する一年となりました。

その他の分野におきましても、子育て支援事業、産業振興事業など多くの事業を展開してまいりましたが、これもひとえに皆様方の格別なるご理解ご協力のお陰であり、心から感謝申し上げます。

私は、日頃から「地域力」をキーワードに市政運営を行っておりますが、最近特に嬉しく思いますことは、私が提唱する「地域力」について、多くの方々からご理解をいただき、「地域力」を高める活動が各地域で自主的に行われているということであります。

非常に意義深いことであり、本市を更に発展させる土台が構築されてきたと感じております。

平成二十四年におきましても、各種団体と連携し、まちづくりを進めてまいりたいと思いますのでご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十四年が皆様方にとりまして幸多い年となりますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

浦添市長　儀間　光男

市民の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は東日本大震災での甚大なる被害に、国中が深い悲しみにつつまれましたが、その国難に対して国民が心一つとなり、希望を持って歩き出した年でした。

また、本市では、「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」の実現に向けた、まちづくりの将来を展望する「第四次浦添市総合計画」の初年度がスタートしたところであります。

そして、本市議会におきましては、第十一期市議会議員の三年目として、市政の発展と市民福祉の向上のため、様々な課題の解決に向けた議会活動を積極的に展開してまいりました。

さて、迎えました平成二十四年も、本市議会は、市当局と連携を図りながら、すべての市民が安心して快適に生活できる「てだこのまち浦添」の発展を目指し、議決機関としての責務を着実に果たすとともに、市民本位の議会活動に全力で取り組んでいく所存であります。

結びに、皆様方の平成二十四年が実り多い年となりますよう心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

浦添市議会議長　下地恵典

2011 うらそえYA（ワイエー）文芸賞 受賞作品決定！

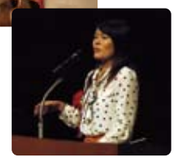
【問い合わせ】
浦添市立図書館 ☎876-4946

「うらそえYA文芸賞」は、読書を推進する活動の一つで、読書離れが進んでいるおおむね13歳から22歳のYA（ヤングアダルト）世代を対象に文学作品を募集するものです。

今年度は、短編小説部門10作品、詩部門45作品の応募がありました。10月中旬に芥川賞作家の又吉栄喜氏らによる審査会を経て、各部門の受賞作品が決定し、11月23日、浦添市てだこホールで表彰式が行われました。

表彰式後は、現役獣医学生として執筆活動を続ける作家、片川優子さん（24）の読書講演会も開催され、会場には多くの方が足を運びました。今月号では、受賞した作品の中から、詩部門で煌賞を受賞した上原幸さんの作品「カメレオン」をご紹介します（短編小説部門で煌賞を受賞した比嘉武蔵さんの作品「犬は祈る～幸せの三つの条件～」は、次号でご紹介します）。

なお、今回の受賞作品は「2011うらそえYA文芸賞作品集」として発行していますので、図書館で貸出・閲覧できます。是非ご覧ください。



YA世代がつむいだ小説・詩

受賞作品

短編小説部門

煌賞

「犬は祈る ～幸せの三つの条件～」

比嘉　武蔵（古蔵中三年）

輝賞

「椿堂書店」

田中　未里（昭薬高一年）

審査員特別賞

「地球に優しいコピー」

石月　織（那覇西高一年）

詩部門

煌賞

「カメレオン」

上原　幸（那覇商三年）

輝賞

「輪廻」

西原　裕美（浦添高三年）

審査員特別賞

「今の私、今が私」

仲間　裕奈（那覇商三年）

詩部門　煌賞

「カメレオン」　上原　幸

今日もまた　広いジャングルで
不安抱えてフラフラと
周りの色にまどわされ
体の色をコロコロと
いつかは　自分の足でしっかりと
好きな色を見つけてさ
この広いジャングルを　ガサッガ
サッと歩くのさ

後列左から田中未里さん、西原裕美さん、仲間裕奈さん、石月織さん。
前列左から比嘉武蔵さん、上原幸さん。

煌賞受賞者インタビュー

詩部門
上原　幸さん

「高校生の悩みを、広いジャングルの中で生きるカメレオンの姿にたとえました。この詩は国語の授業で書いた詩で、思ったこと、感情をそのまま書き連ねました。」

短編小説部門
比嘉　武蔵さん

「小学校４年生の頃から飼っている愛犬をモデルにして、犬はいつもどんなことを考えているんだろうということに焦点を当てて書きました。」